

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	よしのが丘			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 9日		～	令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～	令和8年 1月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 12月 4日		～	令和7年 12月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・実際の支援現場で「すぐに取り組める」内容を、訪問先施設の先生方と一緒に検討・提案できるよう努めています。専門的な視点と現場の状況を踏まえ、実効性の高い個別支援計画を策定できることが当事業所の強みです。	・児童指導員や保育士に加え、公認心理師や言語聴覚士等の専門職の知見を取り入れた多角的な支援を検討しています。また、訪問前のミーティングにおいて、お子さまの実態や訪問先施設の状況に合わせた最適な提案ができるよう、事前の情報共有とシミュレーションを徹底しています。	・訪問先施設の先生方にとって教育活動の充実や、課題解決の糸口となるような支援を目指します。今後も引き続き多職種間の連携を深め、より実効性の高い具体的な助言・提案ができる体制の構築に努めてまいります。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・現在も訪問先施設との連携を図っておりますが、今後はより活発な意見交換の場を設け、お子さまの成長を支える協働体制をさらに深めていきたいと考えております。現場の先生方と同じ目標をより強固に共有し、支援の質を一段と高めていくことが今後の課題です。	・お子さまの実態に即した支援を行うため、さらなる関係性の構築が必要と考えています。先生方の多忙な状況に配慮し、負担をかけずに密な連携を図っていくことの難しさを実感していますが、限られた時間の中で最大限の効果を生む連携の形を検討してまいります。	・お子さまへのより良い支援を目指し、訪問先施設と事業所が対等に意見交換を行える関係性や雰囲気づくりに努めます。また、訪問先施設の多忙な状況を十分に考慮し、事前の日程調整や、短時間でも中身の濃い情報のやりとりができるようなサポートに努めます。
2			
3			